

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

ドクダミ

ドクダミは多年草で、別名として、ドクダメ（毒溜め）や、薬草としての効能が多いことに由来するジュウヤク（十薬）とも呼ばれます。湿った日陰などに群生し、古くから民間薬として使われてきました。原産地は東アジアで、日本から東南アジアにおいて広く分布しますが北海道では明治時代、本州から薬草として移入したものです。湿り気のある半日陰地を好み、住宅周辺の庭や空き地、道端に群生します。全草に特有の臭気がありますがベトナム料理では、魚料理には欠かせない香草として生食されるそうです。地下茎が横に伸び、盛んに枝分かれして繁殖するのではびこるとやっかいです。花は初夏から夏にかけて咲きますが白い花のようなところは総苞片と呼ばれる花を包む葉で花ではありません。中央の突き出た部分が花です。また、白い総苞がたくさんある八重咲の品種や葉がカラフルな園芸種の五色ドクダミもあり日陰を彩る花として庭にも植えられます。（いとう）

盛夏の花木（1）

園内の主役が咲き誇るこのごろ。冷涼な北国では百花繚乱の春に引き続き、様々な花木も野山や庭を賑わしています。北海道では情報不足から本州より一足遅れて人気が出てくる傾向があります。これは果たして越冬するのかという心配も影響していることも。盛夏といっても朝晩が涼しい日もあり、朝露に濡れた様々なアジサイ類、清楚で爽やかなバイカウツギは印象的です。バラ園内には、園芸誌によく登場する西洋系の園芸品種ではなく、日本産のサツミ種（*Philadelphus satsumi*）を列植したコーナーがあります。甘い香りにさぞうっとりすることでしょう。旧緑のセンター北側の通路でお楽しみください。（かわはら）

今月の便り



クレマチスの切り戻しについて

バラの季節が始まり、満開のバラと共にクレマチスの楚々とした花が咲き始めている頃です。クレマチスのタイプは3つ。見分け方は、早咲き種と遅咲き種があります。新枝咲き、旧枝咲き、新旧両用咲きと3タイプに分かれます。北国の私達は冬場の管理を考えると、枝が残らず雪の下で耐えられるタイプを選ぶと楽な管理になります。旧枝咲きは春一番のモンタナ系で華やかな咲きっぷりが魅力ですが、誘引や枝管理に少しだけ手がかかります。新旧と新枝咲きは花が咲き終わり種にしないうちに伸びたぶんの半分くらいの枝を切り戻すと、秋までにもう一度花を咲かせます。本来は地際から2-3節で切るのですが積算温度の関係で半分くらいが北国では良いと思います。（たかはし）

野菜と蔬菜

もともと明治時代には、野菜とは山野草を含めた食用となる草本の総称で、蔬菜（そさい）は田畑で栽培される農作物を表す言葉でした。現在では、この野菜と蔬菜という言葉はほとんど同じ意味に使われています。その野菜に適した環境を知るということは、とりもなおさずその原産地の環境を知ることです。資料がなくて、その野菜や花の性質がわからないときでも、原産地の気候や風土にあった環境を与えてやれば、たいていは元気に育つはずで、日本原産地の野菜は、あさつき、明日葉、うど、えのきたけ、おかひじき、きくらげ、行者ニンニク、さんしょう、椎茸、しめじ、じゅんさい、ぜんまい、つわぶき、なめこ、根曲竹、はっか、はまぼうふう、ひらたけ、ほんしめじ、みずな、みつば、ふき、松茸、ミョウガ、わらび、おにゆり、かたくり、はす、やまごぼう、やまのいも等ですが、家庭菜園で作っている野菜はほとんどありませんね。皆さんが主として家庭菜園で植えている野菜の小豆、大豆、白ナス、きく、シソ、チンゲンサイ、萹、葱、白菜、長芋等は中国が原産地で、大根、玉ねぎ、にんじん、にんにく、ホウレンソウ等々は中央アジア原産です。アスパラ、春菊、セロリ、パセリ、レタス、カブ、ゴボウ等はヨーロッパ原産、スイカ、メロン、ゴマ等はアフリカ原産、インゲン、ズッキーニ等は北アメリカ原産、カボチャ類、ピーマン、サツマイモ等は熱帯アメリカ原産、トウモロコシ、落花生、トマト、ジャガイモ等は南アメリカが原産です。（ながやす）

虫媒花

虫が花粉を運ぶことで受粉がなされる花を虫媒花（ちゅうばいか）と言います。虫を誘うための目立つ花や甘い蜜などをもっているものが多く、私たち人間が愛でる花や野菜にもたくさんあります。いちご、キャベツ、大根、トマト、ナス、りんごにナシ。朝顔、サクラ、バラ、タンポポ…。あげるときりがありません。植物と虫は助け合いながら進化し生きてきたのです。そんなことを知ると花から花へ飛び交う虫達の生活が愛おしくなるというものです。受粉を手伝う虫はいろいろいますが、まずは人間には害がなくコロコロした可愛いマルハナバチあたりから観察して見てください。岩見沢でも何種類も見られます。（きのした）

我が家の野菜保存テクニック NO.2 鮮度がぐんと長持ち！

リンゴ、ブロッコリー、アボカドはビニール袋に必ず入れて

エチレンガスを知っていますか？ 野菜や果物が呼吸する際に出す成分の一種で、追熟を促す作用があります。「リンゴを熟していない果物と同じ袋に入れると果物が熟す」と言うことはご承知のことと思いますが、これはリンゴが出しているエチレンガスの働きによるものです。このエチレンガスを出す野菜や果物を野菜室にそのまま入れておくと、まわりの際が早く傷んでしまう原因となりますのでご注意ください。エチレンガスの多い食材には、リンゴ、ブロッコリー、アボカドなどがあります。これらは、必ずビニール袋などに入れて封をして保存するのが良いでしょう。

丸ままの野菜はビニール袋へ、切ったものはラップを

野菜の新鮮さを保つには、出来るだけ丸のまま保存し、切った場合は2～3日で使い切るのがベストです。野菜は切ってしまうとどんどん痛みが早くなります。丸のままの野菜は、ビニール袋に入れ、軽く封をして冷蔵庫に入れますが、きつく封をすると野菜が呼吸できないのでだめです。切った野菜は切り口をしっかりとラップで覆い、空気や他の野菜などに触れないようにして冷蔵庫で保存して早めに使い切りましょう。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第八十三回

シュラブローズ

コンスタンス スプライ

Constance Spry

作出国：イギリス

作出者：Austin

作出年：1961年

ハーディネスゾーン：Z5

一季咲き

交配：Belle Isis(G) × Dainty Maid(FI)

花の中心はローズピンクで外側に向かうにつれ薄ピンクとなる色彩はとても優雅で、深いカップ咲きの美しい形がさらに気品あふれる花容となります。花径 10 センチほどの大輪ですが、上に向かってドーンと咲く「ドヤ顔」ではなく、下向きに咲く姿がとても奥ゆかしく感じます。なんともロマンチックなバラですが、初期のイングリッシュローズは一季咲きなのがちょっと残念ですね…。香りは甘くスパイシーな強いミルラ香で、母親でガリカローズの Belle Isis から受け継がれました。(Belle Isis については緑の相談コーナーだより№ 388 (2017.10.1 発行) の同コーナーをご参照ください) 当園ではシュラブ樹形でイングリッシュローズガーデンに植栽していますが、つるバラとして使用したほうが下から俯いたお顔を愛でられるので良いかなと思います。ただ枝がかなり丈夫だし結構トゲもあるので、誘引する際は手が滑ってバチーン! とならないように気を付けてください。

オースチンさんがバラを作るきっかけとなったのは、21歳の誕生日でした。オールドローズの本をプレゼントされオールドローズにハマってしまったのです。もともと植物好きで知識も豊富だった彼は、数本

のバラを育ててみたそうです。『大好きなオールドローズみたいで、ハイブリッドティーのように繰り返し咲くバラがあったらいいのに』と思い立ち、植物の育種にも興味があったこともあり育種を始め、10年以上かけてコンスタンス スプライが完成したのです。その後このバラを基に交配したくさんのバラを育種、イングリッシュローズという品種群ができました。

品種名は、20世紀半ばのイギリスを代表するフローラルデザイナーにちなんで付けられました。1930年代から40年代の世界大戦下で、オールドローズの収集を行ったり、イギリス中を旅しながら女性たちへガーデニングとアレンジメントを教える歩いたりしたそうで、フラワーアレンジメントを世間一般に広めたと言われていいます。彼女のアレンジメントは、インターネットで調べると写真を見ることができます。特別な花や珍しい花は使わず、気取らない素敵なアレンジメントで、数十年経った今見てもどれもオシャレです！今となってはバラ好きなら誰でも知っているイングリッシュローズ第一号の記念すべきバラとなりましたが、当時からそんな素晴らしいお方の名前が付いていたのですね。知りませんでした。

今月の市民園芸講座のご案内



- 7月3日(土)・18日(日) 10:00~ バラ管理スタッフのローズツアー
料金:無料 定員:18名 講師:バラ園スタッフ
- 7月4日(日) 10:00~12:00 バラ園でスケッチしよう
料金:無料 定員:10名 講師:藤川 志朗さん イラストレーター
- 7月24日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ⑤ 花後管理と夏越し。
料金:無料 定員:18名 講師:工藤 敏博さん ローズグロワー
- 8月1日(日) 13:00~15:00 折り紙でバラをつくろう 初級
料金:無料 定員:15名 講師:バラ園スタッフ

※7月17日(土) 13:00~15:00 盆栽作りの楽しさ は、
コロナウィルス感染防止の観点から、講師の申し出により
中止とさせていただきます。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>

※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

- × マスクの着用がない方
- × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限を設けているため、定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席はお申込みをされたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避けるため、各講座の定員につきましては、予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、2方向の窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しく下さい。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。